



建築物総合環境計画概要書 新築

■使用評価マニュアル:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1) ■使用評価ソフト:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2)

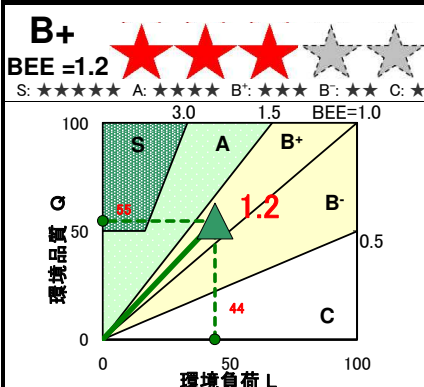
1-1 建物概要

建物名称	(仮称)東成区大今里1丁目マンション計画	
建設地	東成区大今里1丁目	
建築用途	共同住宅	
建築主	フジ住宅(株)	
設計者		
敷地面積	2,242.85	m ²
建築面積	627.68	m ²
延床面積	7,042.43	m ²
構造/階数	RC造	/ 地上15階
完了年(予定)	2024年10月	

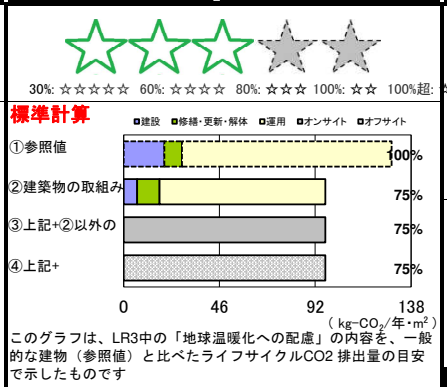
1-2 外観



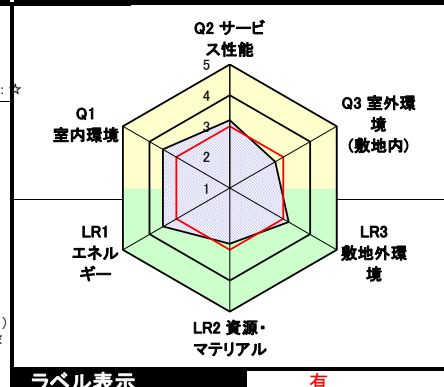
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)



2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



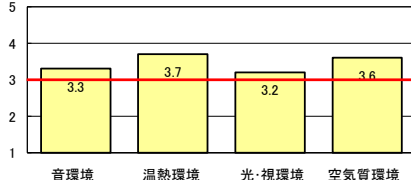
2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q のスコア= 3.1

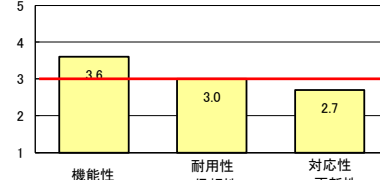
Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.5



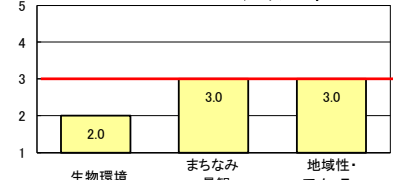
Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.2



Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.7

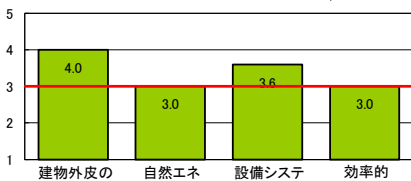


LR 環境負荷低減性

LR のスコア= 3.2

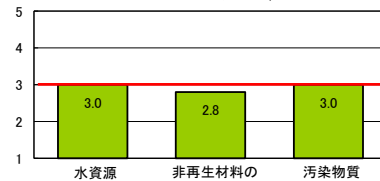
LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.5



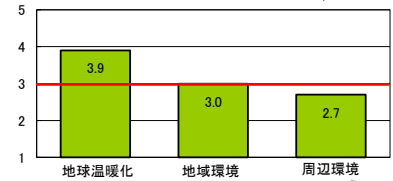
LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.8



LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.2



3 設計上の配慮事項

総合

バルコニーはガラスとし、デザイン性を高めると共に周辺環境と調和するよう努めています。また、断熱性能を高めることにより環境に優しい計画としており、周辺地域には少ないオープンスペースやみどりを公開空地に設けることで、地球温暖化対策にも配慮しています。

その他

建物を集約化し、周辺道路境界から後退した部分に芝生で遊べるポケットパークや、季節の花や緑を楽しめる小径やベンチを設けることで、心地よい空間を提供しています。

Q1 室内環境

断熱性能を向上させたF☆☆☆☆の建材をほぼ全面的に使う事で空気環境を向上させ、遮音等級T2の建具を採用する事で室内の音環境を向上させています。又、昼光率の高い居室の設計に配慮した開口の設定を行っています。

Q2 サービス性能

通信速度が1Gbpsのブロードバンドが利用可能な環境整備を行い、機能性を向上させています。また設備配管における耐用年数の確保に努め、躯体材料の劣化軽減に関しては、等級3相当としています。

Q3 室外環境(敷地内)

周辺地域に少ない緑地を公開空地にできるだけ確保し、緑地にはなだらかな起伏を設け、見え方にも工夫を行っています。また後退距離も可能な範囲で確保する事により周囲への圧迫感を軽減し、景観にも配慮しています。

LR1 エネルギー

照明器具にLEDを使用しており、屋上は外断熱防水としている等、省エネルギー対策にも配慮しており、設備システムの高効率化を示す一次エネルギー消費量の指標であるBEEは0.94となっています。

LR2 資源・マテリアル

リサイクル材を一部使用する事により環境に配慮し、ノンフロンタイプの断熱材を使用する事で汚染物質の材料回避に努めています。またキッチン・洗面・浴室等には節湯水栓を使用しています。

LR3 敷地外環境

建物を積層化する事により確保することの可能な公開空地に出来るだけ緑地面積を確保し、CO2削減・ヒートアイランド化の抑制に貢献しています。又、省エネルギー化や躯体の長寿命化によりライフサイクルCO2排出量を抑制して、地球温暖化に配慮しています。

建築物環境性能表示 結果〔重点評価〕

総合評価BEE = 1.2

ラベル表示



環境性能	評価点
(1)CO ₂ 削減	4.0
CO ₂ 削減に配慮した環境性能	概要記入欄
LR3/ 1 / /	地球温暖化への配慮
配慮事項	ライフサイクルCO ₂ に配慮

環境性能	評価点
(2)みどり・ヒートアイランド対策	3.0
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能	概要記入欄
Q3 / 1 / /	生物環境の保全と創出
Q3 / 3 / 3.2/	敷地内温熱環境の向上
LR3/ 2 / 2.2/	温熱環境悪化の改善
配慮事項	特になし

環境性能	評価点
(3)建物の断熱性	4.0
CO ₂ 削減に配慮した環境性能	概要記入欄
LR1/ 1 / /	建物の熱負荷抑制
配慮事項	特になし

環境性能	評価点
(4)エネルギー削減	4.0
CO ₂ 削減に配慮した環境性能	概要記入欄
LR1/ 3 / /	設備システムの高効率化
配慮事項	照明器具にLEDを使用

省エネルギー基準計算結果

基準
適合状況

適合

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4(相当)以上、非住宅部分が1.0以下であること
 ※ 一次エネルギー消費量については、建物全体のBEI、BEImが1.0以下であること(新築時)
 (基準適合義務がある部分については、その部分のBEI、BEImが1.0以下であること)

外皮性能 住宅部分(品確法等級) 等級4 (相当) 非住宅部分[BPI][BPI_m]

一次エネルギー消費量 建物全体[BEI][BEI_m] 0.94 住宅部分[BEI] 0.94 非住宅部分[BEI][BEI_m]